

日時	令和5年10月24日(火) 13時30分～15時00分	
場所	赤磐市役所 本庁 2階第1会議室	
次第	1 開会 2 市長あいさつ 3 新委員紹介 4 「赤磐市男女共同参画推進審議会」会議の申し合わせ事項について 5 議 事 (1) 第4次赤磐市男女共同参画基本計画の令和4年度実施状況について (2) その他 6 閉会	
出席者	委員	秋川 陽一、井上 和也、熊谷 靖子、森田 尚希、黒澤 陽子、 金谷 征正、小田 礼子、實盛 保子、山本 雅堂 (9名)
	赤磐市	市民生活部長、協働推進課長、事務局2名
<p>●赤磐市男女共同参画推進条例施行規則第6条第2項の規定により、半数以上の参加があるため、会議成立。</p> <p>■議事内容</p> <p>(1) 第4次赤磐市男女共同参画基本計画の令和4年度実施状況について 事務局から説明を行い、委員から以下の意見があった。</p> <ul style="list-style-type: none"> 男女共同参画セミナーについて、若い人に参加してもらうために、SNS や LINE を利用した広報やテーマをもっとピンポイントに設定するなどの工夫をしていくべき。 放課後児童クラブについて、利用条件が厳しく、通わせたくてもそれができない人がいると聞く。できる限り、市が統一したルールを設定し、利用しやすい環境整備をしてもらいたい。 防災について、人間関係作りが助け合いのベースにあると思うので、住民同士の繋がりを持つように交流の場を持つための手助けや、非常時の要になる防災士等の担い手確保のための取り組みを重点的に進めてもらいたい。 いきいき100歳体操について、繋がりを持つための場としては大事だが、開催の担い手は高齢の方がボランティアであるなど課題もたくさんあるため、課題解決の方策や地域の実情に応じた開催目標を考える必要がある。 災害時の備蓄について、いざという時に住民が困らないようにもう少し分かりやすく情報を周知し、対応できるようにしてもらいたい。 全体的に的を絞った、メリハリのある事業展開をしてもらいたい。 		